



協 造 園 日 報

www.jalc.or.jp

第 430 号

2010 年 1 月 1 日

新春特別号

「環境の世紀に向けて」
造園は時代の主役と成り得るか

発行／社団法人日本造園建設業協会（Japan Landscape Contractors Association） 創刊／昭和 49 年 6 月 1 日 〒 113-0033 東京都文京区本郷 2-17-17 井門本郷ビル 2 階 TEL03 (5684) 0011 FAX03 (5684) 0012

謹賀新年

庚寅

2010 年

(社)日本造園建設業協会

会長 佐藤 四郎

年頭にあたって



新年明けましておめでとうございます。
今年も会員の皆様と共に、新年の良き日を迎えられた事を大変うれしく思います。

本年の干支は寅（虎）であります。「寅」は「蟠（いん・動く）」の意味で、春が来て草木が生ずる状態を表していると考えられています。後に覚え易くするために動物の「虎」が割り当てられたと言われております。

「虎」は強い者、豪傑の代名詞としてよく用いられ、戦国武将の武田信玄や上杉謙信はそれぞれ「甲斐の虎」、「越後の虎」と「虎」に喩えられました。

さて、昨年は「今年の漢字」である「新」に代表されるよう、新型インフルエンザが世界中に蔓延し、新薬が着目されました。また米国ではオバマ新大統領が誕生し、国内でも新政権である鳩山内閣が誕生しました。

スポーツの世界でも大リーグのイチロー選手の新記録や、ゴルフでは石川遼選手が最年少新記録を樹立するなど、まさに「新」尽くめでありました。

新しい環境技術の開発や世界経済の変化など、まさに新たな時代を予感させる一年であったと感じ得ます。

一方、本年の10月には名古屋の地でCOP10（生物多様性条約第10回締約国会議）が開催されます。

「存知の通り、現在最先端技術の

一環であるLEDや液晶も、それぞれLEDはホタルから、液晶はイカから得られた技術であり、我々の生業の素材である植物からは、葉のアスピリンが柳から、また新型インフルエンザの新薬であるタミフルは八角から作られております。

このように人間が生活する上で他の生物との共生は不可欠であり、環境問題と共に生物多様性の問題は必ずやクロージアアップされて来る事と思います。

環境問題と共に生物多様性の問題は、我々造園産業界に追い風の話題であり、これらを考慮し、昨年には当協会内に「COP10支援特別委員会」を設置し対応を検討しております。

また、昨年には本部役職者を交えた各支部との交流会を開催し、各地での問題点や今後の対応、また最大の課題である公益法人制度改革などを議論させて頂き、これをもつて会員にとって最良の方向を検討し、今後の協会運営に役立てる所存でございます。

経済が厳しい折では御座います。が、進化論で有名なダーウィンは生き残るのは最強の種ではない。最も高い知能を有している種でもない。最も敏感に変化に反応する種である」と述べております。

我々も変化の激しい激動の時代において敏感に反応し「産業の虎」となることを念頭に、実りある一年となることを祈念しております。

石抱の梅 トキの野生復帰に向けた取り組みで注目を集める佐渡島（佐渡市）は、自然的・文化的遺産にも恵まれた島です。島中央部の真野にある「石抱の梅」は、樹高7.7m、幹周3.5mで順徳天皇のお手植えと伝えられています。この梅は、根元に大石を抱きこんでいることから、その名が付けられました。3月中旬ごろに薄紅色の花が咲き香り、島に春の到来を告げます。



（新潟県支部長 磯部久人）

「世紀」に向けて いま我々は何を成すべきなのか

鼎談にあたって

世界的な経済状況悪化の中、造園工事業界を取り巻く環境は、公共事業の縮減や価格競争などにより、これまでになく厳しい状況となっている。

しかし、CO₂の吸収をはじめとする地球温暖化対策、今年名古屋で開催される生物多様性条約締約国会議など、造園に係わる分野は、これまでになく脚光を浴び、「環境の世紀」「緑の世紀」などとも言われ、社会的には追い風が吹いている。

こうした中、我々は、今後どのようにして事業に取り組んでいったら良いのだろうか。新春にあたり、厳しい現状を乗り越え、本当の意味で地球環境、市民の生活に役立つ「みどり豊かな環境」を創造する環境産業となるには！として、近藤三雄東京農業大学教授、ジャーナリストの須磨佳津江さんにお越しいただき、藤巻副会長と鼎談を行った。

造園工事業のイメージ

須磨 日造協の皆さんと知りあわなかつたら造園工事業という言葉すら知らず、造園イコール植木屋さん、庭師さんといった認識しかなかったように思います。

公園や緑地への関心はありましたが、これらと造園工事業というものを関連して考えるということはありませんでした。

世ですから、大変でしょうね。

近藤 今、須磨さんがおっしゃられたことは、この40年間変わっていません。



須磨 佳津江氏

私が学生の頃も当時の先生方が、造園は、植木屋、庭師に留まらず、もっと広い対象を持つていてと声を大にして語っていました。

ですから、一般に知られるようになった屋上緑化も誰かがやっているのかというと、市民は、建築の延長でどこかの建設会社、工務店がやっている。私も庭師になろうと思って

いた訳ではなく、造園の技能や技術、知識を踏まえながら、広域的なものに関わってというと熱意を持ってやってきました。

それから私が教えるようになり40年が経ちましたが、やはり植木屋、庭師を原点としながらも、それだけではなく多くのことをやっているという状況で、造園を専門に学んでいる場で、こうした状況ですから、一般市民の方々が、造園がどのようなものかを知っている、理解している状況でないことは十分に承知しております。植木屋、庭師にせいぜいガーデニングという言葉が加わり、これらに関連したことをやっている人たちという認識なのだろうと思っています。

正直いうと、私も未だに、造園工事業が、これまでどんなことをしてこれたのかを熟知はしていません。

高度経済成長期に、環境を良くしようということで、公園や緑地、庭園が作られました。そこで皆さんが活躍されていたんですね。お陰様で身近に緑を享受できているのだと、最近では分かってきました(笑) そうした公共事業が主

な仕事だとすると、このご時

私、業界に若い人たちが送り込む立場にいることもあり、余計に造園の将来を危惧しています。具体的にどのくらい厳しくなっているかは、藤巻副会長がよく存知だと思いますが、現在、最盛期の半分くらいにまで落ち込んで

うやつて自分で力をつけて頑張っていけば大丈夫だと、優秀な学生を送り出します。こうした面でも、安心して働ける業界、また、頑張れる業界であって欲しいと思っています。

須磨 認知度の話ですが、例えば病気になるたときは、医者に行こうと思えば、歯が痛かったら、歯医者に行きますよね。でも、家を建てるのに、住宅と外回りをわけて考える人はいないと思うんです。現に家の外構をいじりたいなと思ったときに、誰に頼んだらいいのかわからなくて困りましたから。とりあえず大工さんとか。その程度の認識で、造園屋さんという浮かべる人は少ないのではないのでしょうか。

うことです。どこに問い合わせたらいいか分からないと、市民から庭づくりの相談の電話が掛かってきたこともあり、庭の相談をしようと思ったときに、誰に聞いたらいいかということすら分からない現実があります。造園工事業がどんな仕事をしているかをよく知って貰わなければなりません。

造園について、広く知って貰うには、分かり易く、特徴的な事例を挙げるのが一番です。こうしたときに、私はディズニーストリートの話をしようにしています。

東京ディズニーランドは、計画から管理まで造園界が全面的に関わっています。ウォルトディズニーの思想を忠実に再現するには、その土地の気候風土、植物などのことを熟知していなければなりません。

須磨 植木屋さんや庭師さん、昔ほど身近な存在ではないという気がします。もしかしたら造園業界が公共事業に一生懸命で、市民から離れた存在になっているのではないのでしょうか。今の時代は政治だつて業界団体、大企業から、市民をどう味方につけるかにシフトしています。造園工事業も市民をどう味方につけるかを考えた方がいいと思います。

緑や環境への関心が高まり、追い風になっているのに、造園業界の明日はないのではないのでしょうか。学生から、造園業界に就職して大丈夫かと聞かれ、正直、胸を張って、安心しろとは言いがたい。現在、どんな職業についても、安心できる分野というものは存在せず、個人の努力はどこでも欠かせない、そ

市民の理解を得よう

大変残念なことであり、何とかしなければならぬと様々な機会を通じて苦言を述べていますが、こうした危機を乗り越える業界の具体的な戦略というのは未だ見えてきません。

こまめな改訂、改善というよりもゼロからやり直すくらい抜本的に構造改革しないとい、造園業界の明日はないのではないのでしょうか。学生から、造園業界に就職して大丈夫かと聞かれ、正直、胸を張って、安心しろとは言いがたい。現在、どんな職業についても、安心できる分野というものは存在せず、個人の努力はどこでも欠かせない、そ

うやつて自分で力をつけて頑張っていけば大丈夫だと、優秀な学生を送り出します。こうした面でも、安心して働ける業界、また、頑張れる業界であって欲しいと思っています。

須磨 認知度の話ですが、例えば病気になるたときは、医者に行こうと思えば、歯が痛かったら、歯医者に行きますよね。でも、家を建てるのに、住宅と外回りをわけて考える人はいないと思うんです。現に家の外構をいじりたいなと思ったときに、誰に頼んだらいいのかわからなくて困りましたから。とりあえず大工さんとか。その程度の認識で、造園屋さんという浮かべる人は少ないのではないのでしょうか。

造園について、広く知って貰うには、分かり易く、特徴的な事例を挙げるのが一番です。こうしたときに、私はディズニーストリートの話をしようにしています。

東京ディズニーランドは、計画から管理まで造園界が全面的に関わっています。ウォルトディズニーの思想を忠実に再現するには、その土地の気候風土、植物などのことを熟知していなければなりません。

須磨 植木屋さんや庭師さん、昔ほど身近な存在ではないという気がします。もしかしたら造園業界が公共事業に一生懸命で、市民から離れた存在になっているのではないのでしょうか。今の時代は政治だつて業界団体、大企業から、市民をどう味方につけるかにシフトしています。造園工事業も市民をどう味方につけるかを考えた方がいいと思います。

緑や環境への関心が高まり、追い風になっているのに、造園業界の明日はないのではないのでしょうか。学生から、造園業界に就職して大丈夫かと聞かれ、正直、胸を張って、安心しろとは言いがたい。現在、どんな職業についても、安心できる分野というものは存在せず、個人の努力はどこでも欠かせない、そ

うやつて自分で力をつけて頑張っていけば大丈夫だと、優秀な学生を送り出します。こうした面でも、安心して働ける業界、また、頑張れる業界であって欲しいと思っています。

大変残念なことであり、何とかしなければならぬと様々な機会を通じて苦言を述べていますが、こうした危機を乗り越える業界の具体的な戦略というのは未だ見えてきません。

こまめな改訂、改善というよりもゼロからやり直すくらい抜本的に構造改革しないとい、造園業界の明日はないのではないのでしょうか。学生から、造園業界に就職して大丈夫かと聞かれ、正直、胸を張って、安心しろとは言いがたい。現在、どんな職業についても、安心できる分野というものは存在せず、個人の努力はどこでも欠かせない、そ

うやつて自分で力をつけて頑張っていけば大丈夫だと、優秀な学生を送り出します。こうした面でも、安心して働ける業界、また、頑張れる業界であって欲しいと思っています。

須磨 認知度の話ですが、例えば病気になるたときは、医者に行こうと思えば、歯が痛かったら、歯医者に行きますよね。でも、家を建てるのに、住宅と外回りをわけて考える人はいないと思うんです。現に家の外構をいじりたいなと思ったときに、誰に頼んだらいいのかわからなくて困りましたから。とりあえず大工さんとか。その程度の認識で、造園屋さんという浮かべる人は少ないのではないのでしょうか。

造園について、広く知って貰うには、分かり易く、特徴的な事例を挙げるのが一番です。こうしたときに、私はディズニーストリートの話をしようにしています。

東京ディズニーランドは、計画から管理まで造園界が全面的に関わっています。ウォルトディズニーの思想を忠実に再現するには、その土地の気候風土、植物などのことを熟知していなければなりません。

須磨 植木屋さんや庭師さん、昔ほど身近な存在ではないという気がします。もしかしたら造園業界が公共事業に一生懸命で、市民から離れた存在になっているのではないのでしょうか。今の時代は政治だつて業界団体、大企業から、市民をどう味方につけるかにシフトしています。造園工事業も市民をどう味方につけるかを考えた方がいいと思います。

大変残念なことであり、何とかしなければならぬと様々な機会を通じて苦言を述べていますが、こうした危機を乗り越える業界の具体的な戦略というのは未だ見えてきません。

こまめな改訂、改善というよりもゼロからやり直すくらい抜本的に構造改革しないとい、造園業界の明日はないのではないのでしょうか。学生から、造園業界に就職して大丈夫かと聞かれ、正直、胸を張って、安心しろとは言いがたい。現在、どんな職業についても、安心できる分野というものは存在せず、個人の努力はどこでも欠かせない、そ

うやつて自分で力をつけて頑張っていけば大丈夫だと、優秀な学生を送り出します。こうした面でも、安心して働ける業界、また、頑張れる業界であって欲しいと思っています。

須磨 認知度の話ですが、例えば病気になるたときは、医者に行こうと思えば、歯が痛かったら、歯医者に行きますよね。でも、家を建てるのに、住宅と外回りをわけて考える人はいないと思うんです。現に家の外構をいじりたいなと思ったときに、誰に頼んだらいいのかわからなくて困りましたから。とりあえず大工さんとか。その程度の認識で、造園屋さんという浮かべる人は少ないのではないのでしょうか。

造園について、広く知って貰うには、分かり易く、特徴的な事例を挙げるのが一番です。こうしたときに、私はディズニーストリートの話をしようにしています。

東京ディズニーランドは、計画から管理まで造園界が全面的に関わっています。ウォルトディズニーの思想を忠実に再現するには、その土地の気候風土、植物などのことを熟知していなければなりません。

須磨 植木屋さんや庭師さん、昔ほど身近な存在ではないという気がします。もしかしたら造園業界が公共事業に一生懸命で、市民から離れた存在になっているのではないのでしょうか。今の時代は政治だつて業界団体、大企業から、市民をどう味方につけるかにシフトしています。造園工事業も市民をどう味方につけるかを考えた方がいいと思います。

大変残念なことであり、何とかしなければならぬと様々な機会を通じて苦言を述べていますが、こうした危機を乗り越える業界の具体的な戦略というのは未だ見えてきません。

こまめな改訂、改善というよりもゼロからやり直すくらい抜本的に構造改革しないとい、造園業界の明日はないのではないのでしょうか。学生から、造園業界に就職して大丈夫かと聞かれ、正直、胸を張って、安心しろとは言いがたい。現在、どんな職業についても、安心できる分野というものは存在せず、個人の努力はどこでも欠かせない、そ

うやつて自分で力をつけて頑張っていけば大丈夫だと、優秀な学生を送り出します。こうした面でも、安心して働ける業界、また、頑張れる業界であって欲しいと思っています。

須磨 認知度の話ですが、例えば病気になるたときは、医者に行こうと思えば、歯が痛かったら、歯医者に行きますよね。でも、家を建てるのに、住宅と外回りをわけて考える人はいないと思うんです。現に家の外構をいじりたいなと思ったときに、誰に頼んだらいいのかわからなくて困りましたから。とりあえず大工さんとか。その程度の認識で、造園屋さんという浮かべる人は少ないのではないのでしょうか。

造園について、広く知って貰うには、分かり易く、特徴的な事例を挙げるのが一番です。こうしたときに、私はディズニーストリートの話をしようにしています。

東京ディズニーランドは、計画から管理まで造園界が全面的に関わっています。ウォルトディズニーの思想を忠実に再現するには、その土地の気候風土、植物などのことを熟知していなければなりません。

須磨 植木屋さんや庭師さん、昔ほど身近な存在ではないという気がします。もしかしたら造園業界が公共事業に一生懸命で、市民から離れた存在になっているのではないのでしょうか。今の時代は政治だつて業界団体、大企業から、市民をどう味方につけるかにシフトしています。造園工事業も市民をどう味方につけるかを考えた方がいいと思います。

大変残念なことであり、何とかしなければならぬと様々な機会を通じて苦言を述べていますが、こうした危機を乗り越える業界の具体的な戦略というのは未だ見えてきません。

こまめな改訂、改善というよりもゼロからやり直すくらい抜本的に構造改革しないとい、造園業界の明日はないのではないのでしょうか。学生から、造園業界に就職して大丈夫かと聞かれ、正直、胸を張って、安心しろとは言いがたい。現在、どんな職業についても、安心できる分野というものは存在せず、個人の努力はどこでも欠かせない、そ

うやつて自分で力をつけて頑張っていけば大丈夫だと、優秀な学生を送り出します。こうした面でも、安心して働ける業界、また、頑張れる業界であって欲しいと思っています。

須磨 認知度の話ですが、例えば病気になるたときは、医者に行こうと思えば、歯が痛かったら、歯医者に行きますよね。でも、家を建てるのに、住宅と外回りをわけて考える人はいないと思うんです。現に家の外構をいじりたいなと思ったときに、誰に頼んだらいいのかわからなくて困りましたから。とりあえず大工さんとか。その程度の認識で、造園屋さんという浮かべる人は少ないのではないのでしょうか。

造園について、広く知って貰うには、分かり易く、特徴的な事例を挙げるのが一番です。こうしたときに、私はディズニーストリートの話をしようにしています。

東京ディズニーランドは、計画から管理まで造園界が全面的に関わっています。ウォルトディズニーの思想を忠実に再現するには、その土地の気候風土、植物などのことを熟知していなければなりません。

須磨 植木屋さんや庭師さん、昔ほど身近な存在ではないという気がします。もしかしたら造園業界が公共事業に一生懸命で、市民から離れた存在になっているのではないのでしょうか。今の時代は政治だつて業界団体、大企業から、市民をどう味方につけるかにシフトしています。造園工事業も市民をどう味方につけるかを考えた方がいいと思います。

賀 春

社団法人 日本造園建設業協会

副 会 長
佐藤 藤巻
五十嵐 誠

副 会 長
佐藤 藤巻
五十嵐 誠

副 会 長
佐藤 藤巻
五十嵐 誠

副 会 長
佐藤 藤巻
五十嵐 誠

副 会 長
佐藤 藤巻
五十嵐 誠

副 会 長
佐藤 藤巻
五十嵐 誠

副 会 長
佐藤 藤巻
五十嵐 誠

副 会 長
佐藤 藤巻
五十嵐 誠

副 会 長
佐藤 藤巻
五十嵐 誠

副 会 長
佐藤 藤巻
五十嵐 誠

副 会 長
佐藤 藤巻
五十嵐 誠

副 会 長
佐藤 藤巻
五十嵐 誠

副 会 長
佐藤 藤巻
五十嵐 誠

副 会 長
佐藤 藤巻
五十嵐 誠

ならなければとの思いを強く
しました。本日は有難うござ
いました。